

TC700J ユーザーガイド

Ver1.0



TELADIN



1. 概要	4
2. 製品仕様	5
3. WEB CONNECTION MANAGER への接続	6
3.1 メニュー構成	6
3.2 WEB 設定画面接続	7
4. 基本設定	8
4.1 システム情報	8
5. ネットワーク設定	8
5.1 APN 設定	8
5.1.1 APN の変更またはデフォルトの APN に設定	8
5.1.2 APN を追加	8
5.1.3 APN の削除	9
5.2 ネットワークモード	10
5.3 モデル	11
6. ワイヤレス設定	12
6.1 ワイヤレス設定	12
6.2 MAC フィルタリング	13
6.2.1 特定の MAC アドレスを許可	13
6.2.2 特定の MAC アドレスをブロック	13
6.2.3 MAC フィルタリングの削除	13
7. LAN 設定	14
7.1 DHCP 設定	14
7.1.1 DHCP 設定	14
7.1.2 DHCP 予約	15
7.2 DHCP 割り当てリスト	16
8. ファイアウォール	17
8.1 DMZ	17
8.2 ポートフォワーディング	18
8.2.1 ポート転送設定	18
8.2.2 ポートフォワーディングの削除	18
8.3 DDNS	19
9. デバイス	20
9.1 デバイス情報	20
9.2 パスワード変更	21
9.3 工場初期化	22
9.4 アップグレード	23

9.5 ユーザー管理	28
9.5.1 外部ネットワーク (WWAN) からの WEBCM 接続	28
9.5.2 WEBCM 接続ポートの変更	29
9.5.3 設定のバックアップ	29
9.5.4 設定の復元	30
9.5.5 システムログ	30
9.5.6 自動再起動	30
9.5.7 自己診断	31
9.5.8 自己診断ログの確認	31
9.6 GPS	32

1. 概要

本文書では、3G/LTE 有無線ブリッジ(以下 TC700J)に対する製品仕様および WebCM(Web Connection Manager)の使い方を説明します。

2. 製品仕様

Item		Description	
Module Name		TC700J	
Network Mode		Dual Mode	
Common Air Interface	LTE	FDD LTE CAT 4	
	WCDMA	WCDMA R7 HSPA+	
LTE	Frequency Band	LTE FDD Band 1/3/5/8/26/18/19	LTE TDD Band 39/41(Optional)
	Throughput	Download 150Mbps Upload 50Mbps	
WCDMA	Frequency Band	WCDMA B1 / B19(6) / B8	
	Throughput	Download 42Mbps Upload 5.76Mbps	
Wi-Fi		2.4GHz	
		802.11b/g/n	
		Open WPA-PSK WPA2-PSK WPA/WPA2-PSK mixed	
		Maximum Connector: 10	
		NOT SUPPORTED	
DC Input Operating Voltage		+6.0VDC~+12VDC	
Maximum available value		+5.5VDC~16VDC	
Power		External DC Adapter	
Power consumption		12W	
Current	Maximum	Under 2000mA	
	Sleep Mode	NOT SUPPORTED	
Certification		R 003-200311 003-190290 T ADF 19001103	
MNOs			

3. Web Connection Manager への接続

3.1 メニュー構成

Item		Description
基本設定	システム情報	3G/LTE 接続状態 IP/DNS アドレス IMEI(端末固有番号) 電話番号 (USIM) 信号強度
ネットワーク設定	APN 設定	共通バージョン：現在の APN の表示と変更/追加/削除 CRG：現在 APN の表示と変更のみ可能
	ネットワークモード	WCDMA / LTE / WCDMA + LTE 設定
	モデル	共通/CRG
無線設定	ワイヤレス設定	周波数 ネットワークモード ネットワーク名 暗号化方式 認証キー チャンネル方式 最大接続端末数
	MAC フィルタリング	指定された MAC アドレスを持つ端末の Wi-Fi 接続を制限する
LAN 設定	DHCP 設定	接続する端末に割り当てる IP アドレスの範囲とリース時間の指定
	DHCP 割り当てリスト	接続した端末の情報表示
ファイアウォール	DMZ	外部ネットワークから接続するすべてのポートの信号 指定された内部ネットワークの IP にのみ転送されるように設定
	ポートフォワーディング	外部ネットワークから接続する特定ポートの信号を 設定された内部ネットワークの IP アドレスに転送する機能の設定
	DDNS	DDNS サービス設定
デバイス	デバイス情報	モデル名/シリアル番号/IMEI/ファームウェアバージョン
	パスワード変更	Web Connection Manager ログインパスワードの変更
	工場初期化	工場初期化
	FW upgrade	手動 FW upgrade
	ユーザー管理	外部ネットワーク (WWAN) から WebCM に接続する WebCM 接続ポートの変更 現在の設定のバックアップと復元 システムログの確認 自動再起動 自己診断 自己診断ログ
	GPS	CRG Only menu: GPS 測位

3.2 WEB 設定画面接続

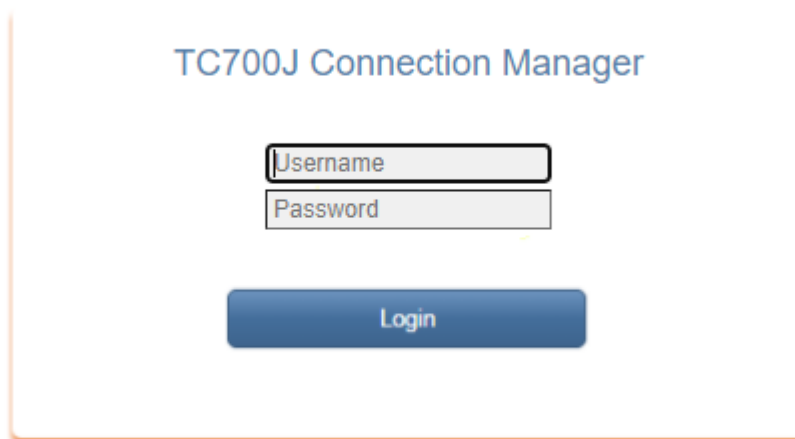
本製品は、Web Connection Manager を介して設定の変更や状態確認が可能です。

製品が電源投入された状態で、Wi-Fi、LAN 経由で本機を接続します。

接続機器で Web ブラウザを起動した後、アドレスウィンドウに **http://192.168.39.1:8090** 入力します。



ログイン画面で[ID]と[パスワード]を入力し、[ログイン]ボタンをクリックします。

A screenshot of the login page for the TC700J Connection Manager. The page has a white background with a blue title "TC700J Connection Manager" at the top. Below the title are two input fields: "Username" and "Password". Below these fields is a blue button labeled "Login". The entire login form is enclosed in a thin orange border.

※※初期 ID は[admin]パスワードは[T シリアルナンバー7 桁] (例 : T1234567) です。

4. 基本設定

4.1 システム情報

基本設定 >> システム情報

ログインに成功すると、最初の画面にモデムの現在の状態を示すページに移動します。

LTE 接続状態、WAN IP/DNS アドレス、IMEI、電話番号、信号強度などの情報を確認できます。

基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイアーウォール	デバイス
ステータス表示					

ステータス表示

接続情報

接続ステータス	LTE接続中
IP アドレス	10.65.0.239
プライマリDNSサーバ	211.36.129.4
セカンダリDNSサーバ	117.111.29.132

モデム情報

IMEI	357084072810735
電話番号	01222993602
信号強度 (dBm)	-95

5. ネットワーク設定

5.1 APN 設定

ネットワーク設定 >> APN 設定

3G/LTE アクセスポイント名 (APN) を設定するページです。

現在使用中の APN 設定値を優先して表示し、複数の APN を登録した場合『Profile List』の値を選択して確認できます。

基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイヤーウォール	デバイス
APN 設定	ネットワーク モード		Model		

APN 設定

APNプロフィール

プロフィールリスト	lte-internet.sk ▼
プロフィールの名前	lte-internet.sk
APN名	lte-internet.sktelecom.com
ユーザ名	
パスワード	
認証方式	PAP & CHAP ▼
PDN Type	IPv4 & IPv6 ▼

5.1.1 APN の変更またはデフォルトの APN に設定

これは現在 APN に設定する機能で、モデムが自動再起動されてから変更された APN としてネットワークに接続されます。

『APN 名』、『名前』、『パスワード』、『認証タイプ』、『PDN タイプ』値を設定します。

『適用』ボタンをクリックします。

5.1.2 APN を追加

現時点では APN として使用していませんが、今後の使用のために登録する機能です。

『追加』ボタンをクリックします。

『プロフィール名』、『APN 名』、『名前』、『パスワード』、『認証タイプ』、『PDN タイプ』値を入力してください。

『保存』ボタンをクリックします。

APN 設定

APNプロフィール

プロフィールの名前	<input type="text" value="umobile"/>
APN名	<input type="text" value="umobile.jp"/>
ユーザー名	<input type="text" value="umobile@umobile.jp"/>
パスワード	<input type="text" value="umobile"/>
認証方式	<input type="text" value="PAP & CHAP"/>
PDN Type	<input type="text" value="IPv4 & IPv6"/>

※登録可能な APN 数は最大 3 個です。

5.1.3 APN の削除

『プロフィールリスト』アイテムから削除するアイテムを選択します。

『削除』ボタンをクリックします。

※現在使用中の APN は削除できません。現在の APN は変更を適用した後に削除する必要があります。

※ 少なくとも 1 つのプロファイルはデフォルトで管理されますので削除できません。

※プロファイル名を設定しないと、デフォルトで APN 名が表示されます。(最大 15 桁)

- Model を CRG として選択した場合、APN は変更のみ可能です。

5.2 ネットワークモード

ネットワーク設定>>ネットワークモード

ネットワークモード（WCDMA / LTE / WCDMA + LTE）を設定するページです。

基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイヤーウォール	デバイス
APN 設定	ネットワーク モード	Model			

ネットワーク モード

ネットワーク モード

ネットワーク モード

WCDMA+LTE ▼

適用

5.3 モデル

ネットワーク設定 >> Model

Model (Common/CRG) を設定するページです。

Common (Default 値) の場合、通信会社に関係なく使用可能です。

CRG メニューは KDDI CRG 専用で、KDDI 通信社 USIM のみ使用可能です。

基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイヤーウォール	デバイス
APN 設定	ネットワーク モード		Model		

Model

Model 設定

Model 設定

COMMON ▼

適用

6. ワイヤレス設定

6.1 ワイヤレス設定

ワイヤレス設定 >> ワイヤレス設定

Wi-Fi 機能を設定できるページです。

変更したい情報を入力してください。

動作設定：『Disable』に設定すると、起動時に Wi-Fi 機能が機能せず、LAN 機能のみが有効になります。

ネットワークモード：IEEE802.11 モードを指定し、モードによって速度が異なります。

ネットワーク名：本機の Wi-Fi 名 (SSID) で、本機にブロードキャストされます。

ネットワーク名通知：上記の Wi-Fi 名 (SSID) をデバイスにブロードキャストするかどうかを決定します。

『Disable』に設定すると、Wi-Fi 名 (SSID) を知る機器のみが手動で接続可能です。

周波数 (2.4GHz)：2.4G のみサポートされています。

最大接続者数：Wi-Fi で接続可能な機器の最大数を設定します。

セキュリティモード：暗号化方式を設定します。

WPA アルゴリズム：暗号化アルゴリズムを設定します。

認証キー：認証キーを設定します。

チャンネル方式：周波数チャンネルを設定します。

設定を保存するには、『適用』ボタンをクリックします。

基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイヤーウォール	デバイス
Wi-Fi 設定	Wi-Fi MAC フィルタリング				

Wi-Fi 設定

動作モード	Enable ▼
ネットワーク モード (802.11)	11b/g/n mixed ▼
ネットワーク名 (SSID)	TC700J_1234567
ネットワーク名 (SSID) 通知	Enable ▼
周波数 (2.4GHz)	2.4GHz ▼
最大接続者数	10 ▼
セキュリティモード	WPA-PSK/WPA2-PSK mixed ▼
暗号化モード	TKIP CCMP ▼
認証キー	T1234567
チャンネルモード	Automatic ▼

適用

6.2 MACフィルタリング

ワイヤレス設定>> MACフィルタリング

Wi-Fi 接続クライアントの MAC Address に制限を設定するためのページです。

6.2.1 特定の MAC アドレスを許可

登録された MAC アドレスの機器のみ接続を許可する機能です。

『MACフィルタリングタイプ』アイテム『Allow』に設定します。

『MAC アドレス』を入力します。

『適用』ボタンをクリックします。

6.2.2 特定の MAC アドレスをブロック

登録された MAC アドレスの機器を除くすべての機器の接続を許可する機能です。

『MACフィルタリングタイプ』アイテム『Deny』に設定します。

『MAC アドレス』を入力します。

『適用』ボタンをクリックします。

基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイヤーウォール	デバイス
Wi-Fi 設定	Wi-Fi MAC フィルタリング				

MACフィルタリングの設定

MACフィルタリングタイプ	Deny
Macアドレス	64:7B:CE:D8:3F:D2

適用

MACフィルタリングリスト

No	Macアドレス	MACフィルタリングタイプ	削除
1	64:7B:CE:D8:3F:D2	Deny	

6.2.3 MACフィルタリングの削除

『』クリックによる個別削除が可能です。

7. LAN 設定

7.1 DHCP 設定

LAN 設定 >> DHCP 設定

7.1.1 DHCP 設定

Wi-Fi、LAN で接続する機器に割り当てる IP アドレスの範囲やリース時間などを設定するページです。

変更したい情報を入力してください。

ゲートウェイ IP アドレス：本製品の端末の LAN IP アドレス

サブネットマスク：本製品の端末の LAN IP サブネットマスクアドレス

DHCP の使用：『無効』に設定すると、接続している端末に IP が自動的に割り当てられず、

接続する機器に指定された IP を手動で指定して使用する必要があります。

開始 IP アドレス：接続する機器に割り当てる IP アドレス範囲の開始

終了 IP アドレス：接続する機器に割り当てる IP アドレス範囲の終わり

リース時間：接続する機器に割り当てるリース時間（秒単位）

設定した内容を保存するには『適用』ボタンをクリックします。

基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイヤーウォール	デバイス
DHCP設定	DHCP割り当てリスト				

DHCP設定

Gateway IPアドレス	<input type="text" value="192.168.39.1"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
DHCPサーバ機能	<input type="text" value="Enable"/>
スタートIPアドレス	<input type="text" value="192.168.39.20"/>
エンドIPアドレス	<input type="text" value="192.168.39.60"/>
リース期間	<input type="text" value="43200"/>

適用

DHCPリスト

<input type="button" value="DHCP予約追加"/> <input type="button" value="更新"/>			
No	IPアドレス	MACアドレス	削除
1	192.168.39.25	08:d4:0c:95:85:62	<input type="button" value="削除"/>

7.1.2 DHCP 予約

指定した MAC アドレスを持つ機器が接続する場合、指定された IP を自動割り当てするためのページです。

『DHCP 予約追加』ボタンをクリックします。


新しいウィンドウで、接続するデバイスの MAC アドレスと割り当てる IP を設定します。

設定した内容を保存するには『適用』ボタンをクリックします。


DHCP予約追加

IPアドレス

MACアドレス

設定した内容を削除するには『』ボタンをクリックします。

DHCPリスト

No	IPアドレス	MACアドレス	削除
1	192.168.39.25	08:D4:0C:95:85:62	

※DHCP 予約機能を使用すると、特定の機器に固定された IP を変わらずに割り当てることができます。

```
Wireless LAN adapter Wireless Network Connection:
Connection-specific DNS Suffix . . . :
Description . . . . . : Intel(R) Dual Band Wireless-AC 3165
Physical Address. . . . . : 08-D4-0C-95-85-62
DHCP Enabled. . . . . : Yes
Autoconfiguration Enabled . . . . . : Yes
Link-local IPv6 Address . . . . . : fe80::5831:e793:9175:9e53%11(Preferred)
IPv4 Address. . . . . : 192.168.39.25(Preferred)
Subnet Mask . . . . . : 255.255.255.0
Default Gateway . . . . . : 192.168.39.1
DHCP Server . . . . . : 192.168.39.1
DHCPv6 IAID . . . . . : 235459596
DHCPv6 Client DUID. . . . . : 00-01-00-01-1E-A1-CE-F7-08-D4-0C-95-85-62

DNS Servers . . . . . : 192.168.39.1
NetBIOS over Tcpip. . . . . : Enabled
```


7.2 DHCP 割り当てリスト

インターネット設定 >> DHCP 割り当てリスト

Wi-Fi、LAN で接続した機器の情報を表示するページです。

接続した機器の MAC アドレス、割り当てられた IP、残りのリース時間（分単位）、接続方式（Wi-Fi または LAN）を表示します。

基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイヤーウォール	デバイス
DHCP設定	DHCP割り当てリスト				

DHCP割り当てリスト

MACアドレス	IPアドレス	残存リース時間 (秒)	接続タイプ
00:e0:4c:36:00:f7	192.168.39.52	43080	Ethernet
3c:f8:62:db:e6:1a	192.168.39.57	43140	PrimaryAP

8. ファイアウォール

8.1 DMZ

ファイアウォール >> DMZ

外部ネットワークから内部ネットワークに接続する場合、外部ネットワークから接続するすべてのポートの信号が指定された内部ネットワークの IP にのみ転送されるように設定するページです。

DMZ 機能を使用する場合、『DMZ 設定』を『Enable』に設定します。

『DMZ IP アドレス』と入力します。

『適用』ボタンをクリックします。

基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイヤーウォール	デバイス
DMZ		ポート転送	DDNS		

DMZ設定

DMZ設定	Enable ▼
DMZ IPアドレス	192.168.39.28

8.2 ポートフォワーディング

ファイアウォール>>ポートフォワーディング

外部ネットワークから接続する特定ポートの信号を設定された内部ネットワークの IP アドレスに転送する機能を設定するページです。

8.2.1 ポート転送設定


内部ネットワーク情報（『IP アドレス』、『LAN ポート番号』）を設定します。

外部ネットワークポート（『WAN ポート番号』）を設定します。

『プロトコル』を設定します。

設定を保存するには『適用』ボタンをクリックします。

8.2.2 ポートフォワーディングの削除


既存の設定を削除するには『』ボタンをクリックします。

基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイアーウォール	デバイス
DMZ	ポート転送		DDNS		

ポート転送設定

IPアドレス	<input type="text" value="192.168.39.28"/>
LANポート	<input type="text" value="30"/>
WANポート	<input type="text" value="40"/>
プロトコル	<input type="text" value="TCP"/>

ポート転送リスト

No	IPアドレス	LANポート	WANポート	プロトコル	削除
1	192.168.39.28	30	40	TCP	

8.3 DDNS

ファイアウォール >> DDNS

DDNS または、動的 DNS（動的 DNS）は、リアルタイムで DNS を更新する方法です。主にドメインの IP が流動的な場合に使用されます。ip が変わっても ddns に設定したドメインとマッチングするため、ドメインのみに接続すると変更された IP のアドレスで接続されます。

基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイヤーウォール	デバイス
DMZ		ポート転送	DDNS		

DDNS 設定

DDNS 状態	Enable
DDNS サービスプロバイダ	no-ip.com
DDNS ホスト名	isr100.ddns.net
DDNS ログインID	isr100@gmail.com
DDNS ログインパスワード	isr100
DDNS タイムアウト(秒)	60

※前提条件：DDNS を使用する前には、常に通信事業者と認定 IP 割当に関する協議が必要です。

『DDNS 使用』の設定を Disable から Enable に変更します。

『DDNS サービスプロバイダ』を選択します。

※ 選択した DDNS サービスプロバイダに、『DDNS ホスト名』、『DDNS ログイン ID』、『DDNS パスワード』情報を登録しなければ、DDNS サービスを利用できません。

- ③サービス提供者に登録したホスト名を「DDNS ホスト名」フィールドに入力します。
- ④サービス提供者に登録したログイン ID を「DDNS ログイン ID」フィールドに入力します。
- ⑤サービスプロバイダに登録したパスワードを「DDNS パスワード」フィールドに入力します。
- ⑥ IP アドレスがドメインに更新される周期を秒単位で「DDNS タイムアウト（秒単位）」に設定します。
- ⑦『適用』ボタンをクリックします。
- ⑧サービスプロバイダのサイトで端末の IP アドレスが正しく更新されていることを確認してください。（基本設定の IP アドレス確認）

9. デバイス

9.1 デバイス情報

デバイス >> デバイス情報

本製品のモデル名、シリアル番号、IMEI、ファームウェアバージョンを表示するページです。

基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイアーウォール	デバイス
デバイス情報	パスワード変更	工場出荷状態にリセット	アップグレード	ユーザーの管理	

デバイス情報

デバイス情報

モデル	TC700J
シリアルナンバー	4780995
IMEI	358049059064829
ファームウェアのバージョン	1.0.4

9.2 パスワード変更

デバイス>>パスワード変更

Web Connection Manager のログインパスワードを設定するページです。

『現在のパスワード』と入力します。

『新しいパスワード』と『新しいパスワードを確認』を入力します。

設定を保存するには『適用』ボタンをクリックします。

基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイヤーウォール	デバイス
デバイス情報	パスワード変更	工場出荷状態にリセット	アップグレード	ユーザーの管理	

パスワード変更

パスワード変更 パスワードの変更（10～15文字のパスワードを英数字で入力してください）

ユーザー名	admin
現在のパスワード	<input type="password"/>
新規パスワード	<input type="password"/>
新規パスワード確認	<input type="password"/>

※初期 ID は[admin]で、変更はできません。

※工場初期化時のパスワードは[T シリアルナンバー7 桁]です。

※パスワード変更時、英文+数字組合せで 10～15 文字でなければなりません。

9.3 工場初期化

デバイス>>工場初期化

本製品を工場出荷状態に設定するためのページです。

工場初期化を設定する場合は、『実行』をクリックします。

工場初期化が完了すると、モデムは自動的に再起動を続行します。

基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイヤーウォール	デバイス
デバイス情報	パスワード変更	工場出荷状態にリセット	アップグレード	ユーザーの管理	

工場出荷状態にリセット

工場出荷状態にリセット

初期化

実行

※工場初期化後、WebCM、Wi-Fi は以下のように設定されます。

WebCM パスワード : T シリアル番号 7 桁

Wi-Fi SSID : TC700_シリアルナンバー7 桁

Wi-Fi キー : T シリアル番号 7 桁

9.4 アップグレード

デバイス>>アップグレード

「ファイル選択」ボタンをクリックします。

基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイヤーウォール	デバイス
デバイス情報	パスワード変更	工場出荷状態にリセット	アップグレード	ユーザーの管理	

ファームウェアのアップグレード

手動アップグレード (エクスプローラの場合、バージョン10以降でサポート)

ファイル選択	파일 선택	선택된 파일 없음
--------	-------	-----------

製造元から提供されたファイルがあるパスに移動します。(選択するファイルは neoidm_diff.zip ファイルであり、ファイル名を変更しないでください。)

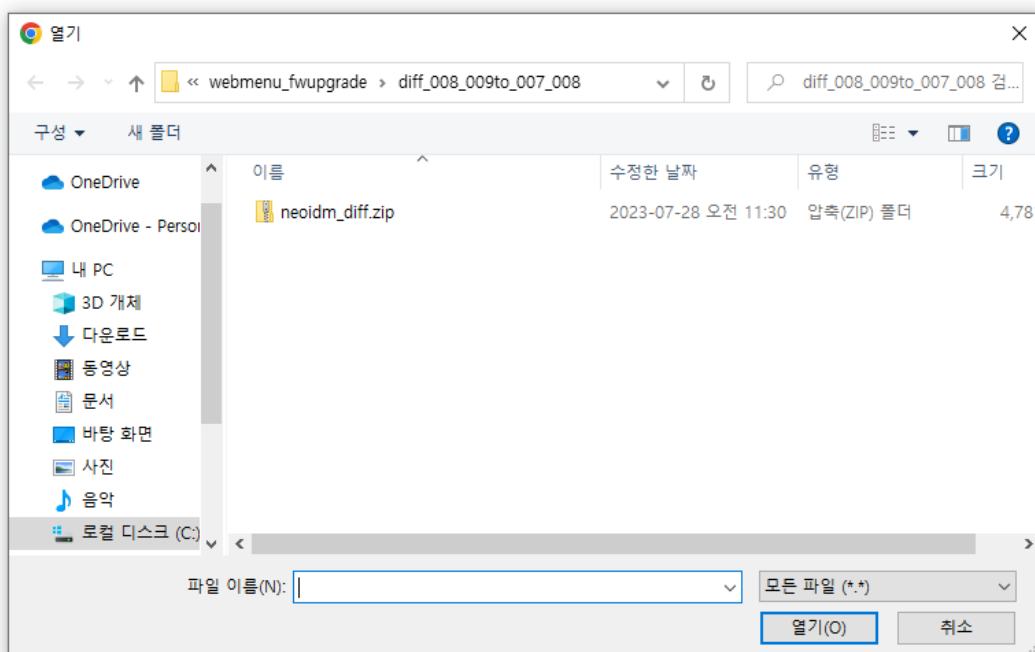
基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイアーウォール	デバイス
デバイス情報	パスワード変更	工場出荷状態にリセット	アップグレード		ユーザーの管理

ファームウェアのアップグレード

手動アップグレード (エクスプローラの場合、バージョン10以降でサポート)

파일 선택 선택된 파일 없음

適用



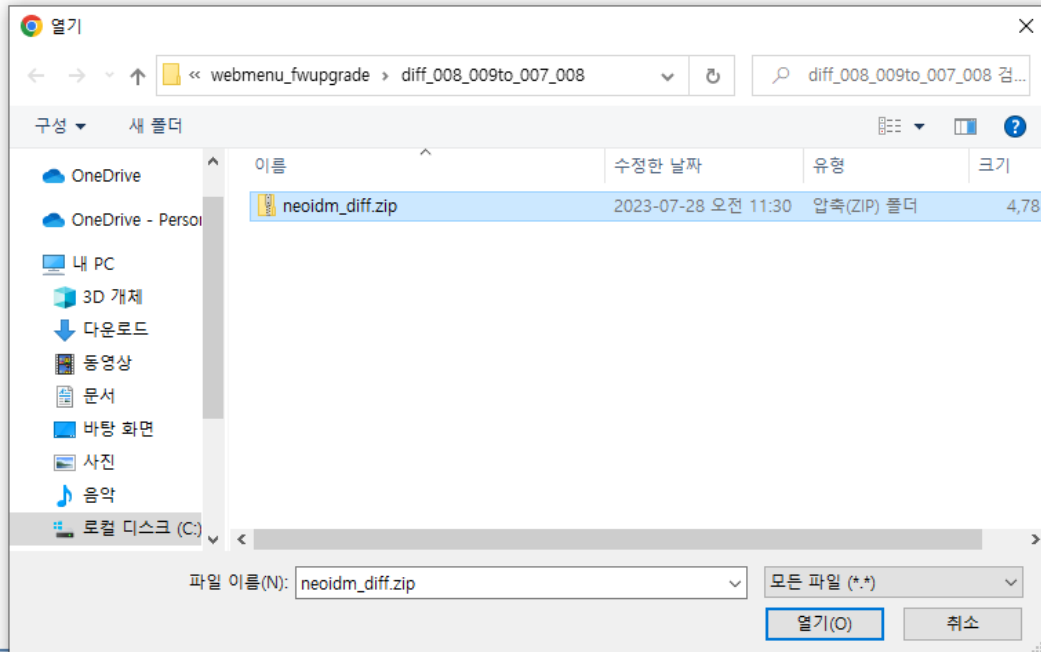
neoidm_diff.zip 파일을 선택하여 열기 버튼을 클릭합니다.

基本設定	네트워크 설정	無線設定	LAN 설정	ファイアーウォール	デバイス
デバイス情報	パスワード変更	工場出荷状態にリセット	アップグレード	ユーザーの管理	

펌웨어의 업그레이드

수동 업그레이드 (익스플로러의 경우, 버전 10 이하에서 지원)

파일 선택 선택된 파일 없음



ファイル選択が完了したら、右適用ボタンをクリックします。

基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイアーウォール	デバイス
デバイス情報	パスワード変更	工場出荷状態にリセット	アップグレード	ユーザーの管理	

ファームウェアのアップグレード

手動アップグレード（エクスプローラの場合、バージョン10以降でサポート）

ファイル選択

파일 선택 neoidm_diff.zip

適用

選択したファイルはルーターに送信されます。(ポップアップ表示)

The screenshot shows the router's configuration interface. At the top, there is a navigation menu with tabs for '基本設定' (Basic Settings), 'ネットワーク設定' (Network Settings), '無線設定' (Wireless Settings), 'LAN設定' (LAN Settings), 'ファイヤーウォール' (Firewall), and 'デバイス' (Device). Below this, there is a sub-menu with options like 'デバイス情報', 'パスワード変更', '工場出荷状態にリセット', 'アップグレード', and 'ユーザーの管理'. The 'アップグレード' (Upgrade) tab is selected. The main content area is titled 'ファームウェアのアップグレード' (Firmware Upgrade) and contains a '手動アップグレード (エクスポート)' (Manual Upgrade (Export)) section with a 'ファイル選択' (File Selection) button. A 'Message' dialog box is displayed in the center, containing the text: 'ファームウェアのアップグレード (1~3分程度の時間がかかります。)ファームウェアファイルの転送中です。しばらくお待ちください。' (Firmware upgrade (1-3 minutes of time is required.) Firmware file transfer is in progress. Please wait for a moment.) and a '適用' (Apply) button.

アップグレードのためにルーターを再起動します。(ポップアップ表示)

*アップグレードが完了して正常に起動するまで電源を切ってははいけません。

This screenshot is similar to the one above, showing the 'ファームウェアのアップグレード' (Firmware Upgrade) page. However, the 'Message' dialog box now displays the text: 'ファームウェアアップグレードが完了しました。モデムの再起動中なのでしばらくしてから、再接続してください。' (Firmware upgrade is complete. The modem is restarting, so please wait for a moment and then reconnect.) and the '適用' (Apply) button.

9.5 ユーザー管理

デバイス>>ユーザー管理

ユーザー管理ページで、以下の機能を提供します。

外部ネットワーク（WWAN）から WebCM に接続する機能

WebCM 接続ポートを変更する機能

現在の設定をバックアップおよび復元する機能

システムログ確認機能

自動再起動機能

自己診断機能

基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイヤーウォール	デバイス
デバイス情報	パスワード変更	工場出荷状態にリセット	アップグレード	ユーザーの管理	
WWANでWebCM接続設定					
WWANでWebCM接続設定	Disable ▼	適用			
WebCM接続ポートの変更					
ポート	8090	適用			
設定のバックアップと復元					
設定の復元	파일 선택	선택된 파일 없음	復元		
設定のバックアップ	バックアップ				
システムログ					
システムログ	確認	削除			
自動再起動					
状態	Disable ▼	適用	再起動ログ		
WWAN 接続確認					
状態	Disable ▼	適用			
WWAN 接続ログ					
ログ	ログのインポート				

9.5.1 外部ネットワーク（WWAN）からの WebCM 接続

1 『Enable』に設定すると、モデムは自動的に再起動を実行します。

WWANでWebCM接続設定

WWANでWebCM接続設定	Disable ▼	適用
----------------	-----------	----

2 ローカルで WebCM に接続して、端末が割り当てられた IP アドレスを確認します。

ステータス表示	
接続情報	
接続ステータス	LTE接続中
IP アドレス	1.109.12.245
プライマリDNSサーバ	211.246.100.49
セカンダリDNSサーバ	168.126.63.1

3 割り当てられた IP アドレスを Web ブラウザに入力して WebCM に接続します。

※必ず外部ネットワークから接続可能な IP を割り当てる必要があるため、使用する USIM、APN などに注意が必要です。
 ※外部ネットワーク（基地局事業者）で特定ポート（ex.80）の許可を拒否することがあるため、Enable 設定後も外部から接続されない場合は、WebCM 接続ポートも変更して外部から接続試行をしてください。
 ex. http:// 1.109.12.245:200

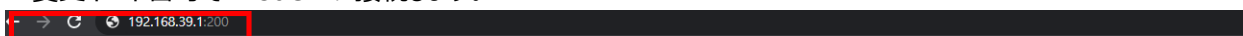
9.5.2 WebCM 接続ポートの変更

1 ポート番号を変更設定すると、モデムは自動的に再起動を実行します。

WebCM接続ポートの変更

ポート	<input type="text" value="200"/>	適用
-----	----------------------------------	----

2 変更ポート番号で WebCM に接続します。



※WebCM 接続ポート番号が変更された場合は、外部ネットワーク（WWAN）でも変更されたポート番号で接続する必要があります。

9.5.3 設定のバックアップ

1 [バックアップ]ボタンをクリックすると、バックアップされ、圧縮された bin ファイルがダウンロード用にリンクされます。

設定のバックアップ	バックアップ
-----------	--------

2 リンクをクリックするとファイルをダウンロードできます。

設定のバックアップ	バックアップ	ダウンロード
-----------	--------	------------------------

名前	サイズ	圧縮されたサイズ	更新された日付	モード	ユーザー	グループ
wlan0	863	69 120	2021-01-11 2...	Orwxr-xr-x	root	root
webcm_ddclient.conf	6 006	6 144	2021-01-11 2...	Orw-r--r--	root	root
webcm_lighttpd.conf	12 840	13 312	2021-01-12 0...	Orwxr-xr-x	root	root
webcm_mobileap_cfg.xml	4 539	4 608	2021-01-12 0...	Orw-r--r--	root	root
webcm_mobileap_firewall.xml	345	512	2021-01-11 2...	Orw-r--r--	root	root
webcm_nvram_web	923	1 024	2021-01-12 0...	Orw-----	root	root
webcm_pwd_backup	32	512	2020-12-24 2...	Orwxrwxrwx	root	root

9.5.4 設定の復元

1 バックアップされたファイルを選択して復元を実行すると、モデムは復元の進行後に自動的に再起動を実行します。

設定の復元	파일 선택 backup.bin	復元
-------	------------------	----

9.5.5 システムログ

1 システムログを確認して削除できます。

システムログ

システムログ	確認	削除
--------	----	----

2 システムログを確認すると、新しいウィンドウにログが表示され、[更新]ボタンを使用してリアルタイムで最新のログを確認できます。

Message

```
Feb 1 14:20:01 mdm9607 cron.info CROND[20412]: (root) CMD ( /etc/cron.d/check_ps.sh)
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: cannot execute "/usr/bin/location_hal_daemon"
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: cannot execute "/usr/bin/qwesd"
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: cannot execute "/usr/bin/location_hal_daemon"
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: cannot execute "/usr/bin/qwesd"
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: cannot execute "/usr/bin/location_hal_daemon"
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: cannot execute "/usr/bin/qwesd"
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: cannot execute "/usr/bin/location_hal_daemon"
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: cannot execute "/usr/bin/qwesd"
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: cannot execute "/usr/bin/location_hal_daemon"
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: cannot execute "/usr/bin/qwesd"
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: cannot execute "/usr/bin/location_hal_daemon"
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: cannot execute "/usr/bin/qwesd"
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: cannot execute "/usr/bin/location_hal_daemon"
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: cannot execute "/usr/bin/qwesd"
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: cannot execute "/usr/bin/location_hal_daemon"
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: cannot execute "/usr/bin/qwesd"
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: cannot execute "/usr/bin/location_hal_daemon"
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: cannot execute "/usr/bin/qwesd"
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: Id "lcmd" respawning too fast: disabled for 5 minutes
Feb 1 14:20:50 mdm9607 daemon.info init: Id "qwes" respawning too fast: disabled for 5 minutes
```

更新 閉じる

9.5.6 自動再起動

2 種類の自動再起動機能を提供します。

1 現在時刻に設定

指定された時間（曜日/時/分）に再起動が行われます。

データ使用チェック：再起動直前 50 秒間データ使用がない場合、再起動機能が動作し、そうでない場合翌日に再びチェックをする。

再起動オフセット：分単位で、「0～設定した時間（分）」の間のランダム時間（分）が生成されます。

自動再起動

状態	Enable ▼ 適用 再起動ログ
データの使用チェック	Enable ▼ ('enable' 適用時設定した時間にデータを使用中であれば、再起動しません。)
再起動オフセット	50 ▼ ('設定された再起動時間 + 再起動のオフセット時間'が、実際の再起動される時間です。)
再起動方法	現在時刻 ▼
再起動時間	月 ▼ 曜日 00 ▼ 時 00 ▼ 分に自動的に再起動します。

※現在の時間を確保できなければならないため、必ず基地局に正常に接続されていなければならない。

※工場出荷時、上図の設定でデフォルト設定されています。

2 動作時間に設定

起動時点から指定された時間（時間）後に再起動を実行します。

自動再起動

状態	Enable ▾ 適用 再起動ログ
データの使用チェック	Enable ▾ ('enable' 適用時設定した時間にデータを使用中であれば、再起動しません。)
再起動オフセット	50 ▾ ('設定された再起動時間 + 再起動のオフセット時間'が、実際の再起動される時間です。)
再起動方法	動作時間 ▾
動作時間	動作後 24 ▾ 時間後に再起動します。

9.5.7 自己診断

1 『Enable』に設定するとドメインアドレス/チェック周期/再起動周期を狙って自ら診断を設定できる。

WWAN 接続確認

状態	Enable ▾ 適用
ドメインのアドレス	www.google.com
チェックサイクル	10分 ▾
再起動サイクル	10分 ▾

9.5.8 自己診断ログの確認

1 自己診断を有効にした場合は、[ログの確認]をクリックしてそのログを確認できます。

WWAN 接続ログ

ログ	ログのインポート
----	----------

9.6 GPS

デバイス>> GPS

Model を CRG として選択した場合にのみ、GPS メニューが表示されます。

基本設定	ネットワーク設定	無線設定	LAN設定	ファイアーウォール	デバイス
デバイス情報	パスワード変更	工場出荷状態にリセット	アップグレード	ユーザーの管理	GPS

GPS

GPS Start	<input type="button" value="スタート"/>
GPS Result	<div style="border: 1px solid black; height: 80px; width: 100%;"></div>
	<input type="button" value="リフレッシュ"/>